

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-3
地域生活交通の確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

港湾空港課 土肥美実

電話番号

0852-22-5228

事務事業の名称	離島航路整備事業	
目的	(1) 対象	隠岐島民と離島航路利用者
	(2) 意図	離島航路を安全で快適に移動できるよう、また、安定した物資の輸送ができるようにする。
事業概要	離島航路の拠点となる隠岐の西郷港・別府港・来居港及び本土の七類港において、より安全で効率的な利用に向けて、岸壁等の港湾施設を整備する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	岸壁の整備率	目標値		97.8	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	岸壁の実施済み延長/岸壁の計画総延長	取組目標値						
			実績値	89.4	96.7	100.0			
			達成率	-	98.9	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	596,739	203,768
うち一般財源(千円)	131,796	21,497

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・来居港では、内航フェリーが利用する岸壁の静穏度が悪く冬期を中心に抜航することがあり、また、来居港のみフェリーへの乗降施設が未整備で、乗降客は船内の急な階段を利用していた。
 ・これらの問題を解決するため、内航フェリーが横付けできる新岸壁やフェリーターミナル、乗降施設(ギャングウェイ)を整備した。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・来居港での内航フェリーの就航率向上のため、H26年度末に岸壁改良工事に着手し、H29年度に完成した。
 ・また、フェリーターミナル整備工事をH28年度に着手し、平成29年度に完成した。
 ・これらの完成により、高齢者や観光客等が安全に、そして安心してフェリーを利用できる施設整備を行うことができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・来居港においては冬期風浪などにより抜港せざるを得ない場合も有る。
 ・離島航路整備は、来居港の岸壁及びターミナル、乗降施設(ギャングウェイ)整備により成果目標を達成することができたが、その他の離島航路を有する港湾においては、施設の老朽化に伴う修繕等がある。

②困っている状況が発生している「原因」

・港内の静穏度不足
 ・施設の老朽化

③原因を解消するための「課題」

・利用状況や気象、海象などの現況調査
 ・港湾施設の維持管理計画に基づく施設修繕

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・来居港の抜港対策について、今回改良した岸壁の利用状況なども確認し、どのような対応が必要か、また可能か検討していく。
 ・西郷港においては、フェリー棧橋の老朽化が進んでおり、現在修繕工事を実施しており、早期完成を目指している。
 ・別府港では、フェリー用防舷材の老朽化が進んだため、本年度に取り換え工事を実施する。
 ・高速船用の乗降用タラップ等についても、老朽化が進んでおり、利用者の安全安心を確保するため、本年度から調査・修繕等を行っていく。